



インターネットでの情報提供	
提供予定日	11月5日

平成21年11月4日 県政記者クラブ・岐阜経済記者クラブ同時配布資料		
担当課	担当者	電話番号
(財)岐阜県産業経済振興センター・デザインセンター	川本 敏	058-277-1081

新デザインの現代神棚・仏壇の見本市出展について

岐阜県産業経済振興センター・デザインセンターにおいては、県内の地場産品の振興のため、地元メーカーとデザイナー等との連携を通じ、新たな商品開発や販路開拓の支援を行っています。

このたび、同事業において商品開発支援を行った新デザインの現代神棚及び仏壇が完成し、11月4日から5日、京都市で開催される見本市に出展することになりましたのでご案内します。

記

1 見本市の概要

- (1) 名称 第44回全国仏壇仏具総合展示見本市
- (2) 会期 平成21年11月4日(水)～5日(木) 9時～17時
- (3) 会場 みやこめっせ(京都市勧業館、京都市左京区岡崎成勝町9-1)
- (4) 主催 全国仏壇仏具振興会

2. 商品の概要

(1) 神棚：「神護(かみもり)」、「神語(かみがたり)」(製造企業：(有)早川産業<中津川市付知町白沢>)

<商品コンセプト>・中津川市付知町は木曾ヒノキを用いた神棚製造が地場産業の一つとなっている。

- ・昔はどこの家にも有った神棚だが、生活様式の変化から疎遠になり、神棚をまつる家も減少傾向にある。
- ・そこで、現代社会に神棚を復活させるべく、現代の居住空間やオフィスにも馴染むシンプル且つ現代的なデザインの神棚を開発した。
- ・神社の尊厳を損なわずに神社札を納める方法をシンプルにしたのが構造的な特徴。

<支援内容>・「神護」は、デザインセンターの「オリベ想創塾事業」の一環として支援。デザイナーは川上元美氏。

- ・「神語」は産業経済振興センターデザイン担当顧問兼オリベ想創塾長の西山英熙(ひでき)が総合デザイン支援。

(2) 仏壇：「ほとけの座」(製造企業：つげ石材(株)<中津川市蛭川3288-21>)

<商品コンセプト>・核家族化や転勤等の物理的事由により、お墓を持つことが難しくなってきた現代の生活様式に合わせて、室内に持ち込み引っ越ししても持って行ける墓石を開発した。

- ・初めて「室内墓石」という概念を取り入れたのが特徴で、納骨用の収納スペースを有した仏壇である。

<支援内容>・産業経済振興センターデザイン担当顧問兼オリベ想創塾長の西山英熙が総合デザイン支援。試作品開発には中小企業経営改革支援事業費助成金を活用。